



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社ワンキャリア 上場取引所 東  
コード番号 4377 URL <https://onecareer.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 宮下 尚之  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 木村 智明 TEL 03 (6416) 4088  
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（当社ホームページに決算説明動画を掲載予定）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	2,770	26.9	913	23.2	914	23.3	641	21.4
2023年12月期中間期	2,183	45.2	741	50.9	742	50.5	528	53.3

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	108.87	104.78
2023年12月期中間期	91.74	86.49

#### （2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	5,734		3,744			65.3
2023年12月期	4,190		3,056			72.9

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 3,744百万円 2023年12月期 3,056百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,558	40.0	1,222	22.8	1,222	22.6	857	23.5	145.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記(4) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	5,903,690株	2023年12月期	5,876,240株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	426株	2023年12月期	226株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	5,894,166株	2023年12月期中間期	5,761,966株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
中間会計期間 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国の経済は、賃上げへの動きや企業の高い投資意欲を背景に、雇用・所得環境は改善し、緩やかな景気回復の動きがみられました。しかしながら、金融資本市場の変動、物価高騰など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

人材採用領域においては、有効求人倍率（季節調整値）は2024年6月には1.23倍となり、人材需要は継続して堅調に推移しております。また新型コロナウイルス感染症の影響で増えたオンラインでの採用活動が、企業の採用プロセスとして定着したことにより、企業の採用DXへの需要は堅調に推移しております。また、大学での授業をオンラインで実施することが基本となり、部活動やサークル活動といった課外活動がコロナ禍前のように活気を取り戻しつつあるなど、大学生を取り巻く環境に変化も起きています。

このような環境の中、当社は積極的な法人向けのマーケティング活動等で新規取引先との接点を増やし、求人掲載サービスやオンライン企業説明会サービスの販売に結びました。さらに、地域・業界・職種等の特定カテゴリの学生・企業の抱えるニーズに合致したサービスを強化し、会員数及び法人顧客数拡大に注力しております。

当中間会計期間において会員数は1,838千人（前年同期比348千人増）、法人取引累計社数は3,632社（前年同期比1,358社増）となりました。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は2,770,458千円（前年同期比26.9%増）、営業利益は913,530千円（前年同期比23.2%増）、経常利益は914,656千円（前年同期比23.3%増）、中間純利益は641,723千円（前年同期比21.4%増）となりました。

なお、当社はキャリアデータプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当中間会計期間末における総資産は5,734,199千円となり、前事業年度末に比べ1,544,195千円増加しました。

流動資産は4,793,335千円となり、前事業年度末に比べ1,358,369千円の増加となりました。これは主に現金及び預金1,145,971千円の増加、売掛金169,796千円の増加によるものであります。

固定資産は940,864千円となり、前事業年度末に比べ185,826千円の増加となりました。これは主に敷金及び保証金97,009千円の増加、有形固定資産51,013千円の増加によるものであります。

## (負債)

当中間会計期間末における負債は1,989,225千円となり、前事業年度末に比べ855,413千円増加しました。

流動負債は1,989,225千円となり、前事業年度末に比べ855,413千円増加しました。これは主に契約負債624,875千円の増加、未払法人税等80,105千円の増加によるものであります。

なお、中間会計期間末における固定負債はありません。

## (純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は3,744,973千円となり、前事業年度末に比べ688,782千円増加しました。これは主に中間純利益の計上による利益剰余金641,723千円の増加によるものであります。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べて、1,145,971千円増加し、4,332,641千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,318,384千円（前年同期は725,739千円の収入）となりました。これは主に、法人税等の支払額192,827千円、売上債権の増加額169,796千円があった一方で、税引前中間純利益914,656千円、契約負債の増加額624,875千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は199,787千円（前年同期は262,660千円の支出）となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出99,535千円、無形固定資産の取得による支出39,559千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は27,375千円（前年同期は71,004千円の支出）となりました。これは主に、ストックオプションの行使による収入27,375千円があったことによるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,186,669	4,332,641
売掛金	166,463	336,259
棚卸資産	90	14,078
その他	81,741	110,355
流動資産合計	3,434,966	4,793,335
固定資産		
有形固定資産	159,841	210,855
無形固定資産	280,568	278,663
投資その他の資産		
投資有価証券	67,624	103,743
敷金及び保証金	196,471	293,480
その他	50,531	54,120
投資その他の資産合計	314,627	451,345
固定資産合計	755,038	940,864
資産合計	4,190,004	5,734,199
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,607	70,541
短期借入金	100,000	100,000
未払金	144,198	196,611
未払法人税等	192,827	272,933
契約負債	506,648	1,131,523
賞与引当金	7,815	8,667
その他	140,714	208,947
流動負債合計	1,133,812	1,989,225
負債合計	1,133,812	1,989,225
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	43,318	10,000
資本剰余金	1,486,798	1,567,156
利益剰余金	1,526,421	2,168,144
自己株式	△361	△361
株主資本合計	3,056,176	3,744,939
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15	34
評価・換算差額等合計	15	34
純資産合計	3,056,191	3,744,973
負債純資産合計	4,190,004	5,734,199

(2) 中間損益計算書  
(中間会計期間)

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,183,758	2,770,458
売上原価	324,189	393,975
売上総利益	1,859,569	2,376,483
販売費及び一般管理費	1,118,195	1,462,952
営業利益	741,374	913,530
営業外収益		
雑収入	1,083	2,122
その他	25	56
営業外収益合計	1,108	2,178
営業外費用		
支払利息	184	385
投資事業組合運用損	205	248
譲渡制限付株式報酬償却損	—	400
その他	53	18
営業外費用合計	443	1,053
経常利益	742,038	914,656
税引前中間純利益	742,038	914,656
法人税等	213,410	272,933
中間純利益	528,628	641,723

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	742,038	914,656
減価償却費	34,933	52,305
支払利息	184	385
株式報酬費用	4,355	8,742
投資事業組合運用損益 (△は益)	205	248
売上債権の増減額 (△は増加)	△178,340	△169,796
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,141	△13,987
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,018	28,934
契約負債の増減額 (△は減少)	334,339	624,875
未払金の増減額 (△は減少)	△44,432	56,165
その他	△26,657	9,081
小計	862,469	1,511,611
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△257	△399
法人税等の支払額	△136,472	△192,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	725,739	1,318,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△85,487	△24,328
無形固定資産の取得による支出	△97,869	△39,559
投資有価証券の取得による支出	△4,000	△36,364
敷金及び保証金の差入による支出	△75,303	△99,535
投資活動によるキャッシュ・フロー	△262,660	△199,787
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△171,004	—
ストックオプションの行使による収入	—	27,375
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,004	27,375
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	392,074	1,145,971
現金及び現金同等物の期首残高	2,657,882	3,186,669
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,049,956	4,332,641



（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当中間会計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ13,687千円増加しております。

また、2024年5月17日付で譲渡制限付株式報酬としての新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ9,832千円増加しております。

そして、2024年3月27日開催の定時株主総会決議に基づき、2024年6月1日付で減資の効力が発生し、資本金の額が56,838千円減少、その他資本剰余金の額が56,838千円増加しております。

これらにより、当中間会計期間末において、資本金が10,000千円、資本剰余金が1,567,156千円となっております。

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、キャリアデータプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。